

# 鳥取縣公報

第二百八十九號  
昭和七年二月二日

火曜日

## 縣令

◇鳥取縣令第八號

境港灣取締規則左ノ通定ム

昭和七年二月二日

鳥取縣知事

館

哲

二

### 境港灣取締規則

#### 第一章 總則

第一條 本令ニ於テ境港灣ト稱スルハ境燈臺ヲ中心トシ二海里半ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ一孤以西及外ノ江西北端ヨリ正面ニ引キタル一線以東ノ區間及防波堤、護岸、岸壁、物揚場其ノ他知事ニ於テ指定スル港灣附屬物ヲ謂フ

第二條 境港灣ヲ別チテ内港及外港トシ防波堤ニ依テ圍マレタル海面ヲ内港、其ノ他ノ海面ヲ外港ト稱ス内港ヲ二區ニ別チ岸壁及護岸ニ沿フ區間ヲ第一區トシ其ノ他ヲ第二區トス

第三條 内港ニ碇泊セムトスル船舶ハ左ノ區別ニ從フヘシ

- 一、汽船、登簿帆船、發動機船、登簿石數船ハ第一區及第二區中物揚場ニ沿フ區域
- 二、前號ノ船舶以外ノ小形船、雜種船ハ前號以外ノ區域及第一區中知事ニ於テ指定スル區域
- 第四條 前條第二號ノ小形船、雜種船ト雖モ揚荷若ハ積荷ノ都合ニ依リ一時所定區域外ニ碇泊スルコトヲ得但シ其ノ積卸ヲ終リタルトキハ遲滞ナク所定ノ區域ニ移船スヘシ
- 第五條 港内ニ在ル船舶ニシテ風波其ノ他ノ災害ノ爲避難セムトスル場合ニ於テハ適宜所定ノ碇泊場ヲ變更スルコトヲ得其ノ事故ノ止ミタルトキハ所定ノ碇泊區域ニ移船スヘシ
- 第六條 港内ノ秩序ヲ保持スル爲必要アルトキハ知事ニ於テ特ニ碇泊場ヲ指定スルコトアルヘシ
- 第七條 左ノ場所ニ於テハ如何ナル船舶ト雖モ投錨又ハ停留スヘカラス
  - 一、港口及航路
  - 二、知事ノ指定シタル區域
- 第八條 本令ニ於テ埠頭ト稱スルハ岸壁、埋立地、建築物並附屬器具、機械及地上物件トス
- 第九條 本令ニ於テ物揚場ト稱スルハ土地、石垣、建築物及其ノ他ノ地上物件トス物揚場ノ區域ハ標柱ヲ以テ之ヲ示ス
- 第十條 汽船ノ船客ハ内航船客ヲ除クノ外知事ノ指定スル場所ヨリ乗降スヘシ其ノ區域ハ標柱ヲ以テ之ヲ區劃ス
- 第十一條 入港シタル船舶ニシテ總噸數二十噸以上積石數二百石以上ノモノハ別記様式ニ依ル届書ヲ船長又ハ其ノ代理人ヨリ境港務所ニ提出スヘシ出港ノトキハ船名及出港ノ年月、日時、出向地名ヲ届出ツヘシ

第二章 港 灣 取 締

- 第十二條 内港ニ於テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲スヘカラス但シ第一號又ハ第五號ノ行爲ニシテ境港務所長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
  - 一、棧橋、浮標、船路測量標、量水標、燈竿、燈標、護岸、堤塘(繫船柱、繫船環ヲ除ク)防波堤(繫船柱、繫船環ヲ除ク)ニ船舶ヲ繫留スルコト
  - 二、石塊ノ類ヲ以テ錨ニ代用スルコト
  - 三、土砂、瓦礫、塵芥、灰燼、神佛供物其ノ他汚穢物、死屍ヲ投棄スルコト
  - 四、傳染病患者ノ排泄物又ハ傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル衣類、器具ノ類又ハ之ヲ洗滌シタル汚水等ヲ投棄スルコト
  - 五、岸壁、護岸、物揚場又ハ防波堤ニ於テ捕魚ヲ爲スコト
  - 六、端艇其ノ他船舶競漕ヲ爲スコト
- 第十三條 内港第一區及内港中知事ノ指定スル區域ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲スヘカラス但シ第一號又ハ第四號ノ行爲ニシテ境港務所長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
  - 一、捕魚、採藻ヲ爲スコト
  - 二、惡臭ヲ發スル汚物又ハ蓋ナキ糞尿桶、汚物桶ノ運搬ヲ爲スコト
  - 三、濫ニ汽笛ヲ吹鳴スルコト
  - 四、槎筏竹木ヲ繫留スルコト
- 第十四條 港内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サムトスル者ハ其ノ位置、方法、期間及圖面ヲ添ヘ境港務所ニ出願許可ヲ受クヘシ

- 一、竹木ヲ樹テ又ハ足場其ノ他工作物ヲ設ケムトスルトキ
- 二、潛水機其ノ器械類ヲ用ヒ沈没物件ノ引揚ヲ爲サムトスルトキ
- 三、日本形二百石積以上西洋形二十噸以上ノ船舶ヲ進水セムトスルトキ
- 四、外港ニ土砂、瓦礫、灰燼等ヲ投棄セムトスルトキ
- 五、槎筏、竹木ヲ繫留セムトスルトキ

前項第一號及第五號ノ場合ハ其ノ所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ記載シタル標札ヲ見易キ場所ニ附着スヘシ

第十五條 港内ニ於テ左ノ行爲ヲ爲サムトスル者ハ其ノ日時期間及區域ヲ記載シ境港務所ニ出願許可ヲ受クヘシ

- 一、施餓鬼又ハ船行列ヲ爲サムトスルトキ
  - 二、内港ニ於テ船ヲ以テ船舶、槎筏、竹木ヲ曳キ又ハ聯結若ハ併列シテ通航セムトスルトキ
- 但シ親船ノ傳馬船ヲ曳クモノ又ハ曳綱共百米以内ノ槎筏竹木解船等ヲ曳クモノハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 火藥又ハ發火シ易キ物品ヲ積載シタル船舶ハ他ニ危險ノ及ハサル場所ニ碇泊スヘシ

第十七條 航行中又ハ現ニ傳染病患者又ハ死者アル船舶其ノ他傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル船舶ハ港外ニ碇泊シ船舶ノ前橋ニ晝間ハ黃旗ヲ夜間ハ紅白二燈ヲ連掲シ警察官吏ニ届出テ其ノ指示ニ從フヘシ

第十八條 船舶ハ濫ニ内港ニ於テ他船ノ前路ヲ横切り又ハ後部ニ接近シ若ハ併列シテ通航シ又ハ追越ヲ爲ス等他船ノ通航及投錨ヲ妨害スヘカラス

第十九條 船舶ニシテ内港ヲ通航セムトスルトキハ船ノ安全ナル針路ヲ保ツニ足ル速度ニ止ムヘシ

第二十條 港内ニ碇泊シ又ハ運航スル船舶ハ日没ヨリ日出マテノ時間ハ海上衝突豫防ニ關スル法令ニ規定シタル船燈ヲ掲クヘシ但シ通船上荷船等ノ小形船ニシテ碇泊中ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス作業中ノ漁船ハ適當ノ船燈ヲ掲クヘシ

第二十一條 内港ニ於テ荷船端艇又ハ解船ヲ濫リニ他ノ船舶ノ後部ヘ繫留スヘカラス但シ船側ニ繫留スル場合ト雖モ併列シテ船舶連航ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第二十二條 船舶、槎筏、竹木ノ繫留ヲ忽ニシ又ハ他ニ引曳セラルル船舶、槎筏ノ操舵ヲ忽ニスヘカラス

第二十三條 船舶ノ繫留ニ際シテハ必要以外ニ其ノ綱ヲ延長スヘカラス

第二十四條 沈没又ハ顛覆シタル船舶物件ニシテ船舶通航ノ妨害トナリ若ハ危險ノ虞アルトキハ直ニ之ヲ除却スヘシ取繕上必要ヲ認メタル場合亦同シ但シ之ヲ除却スル迄ハ相當ノ標識ヲ附シ夜間ハ點燈スヘシ

第二十五條 船舶ニシテ石炭、荷役其ノ他之ニ類スル物件ヲ積卸スルトキハ脱落ヲ防ク爲豫メ必要ナル装置ヲ爲スヘシ

第三章 埠頭 取 締

第二十六條 埠頭ニハ汽船、帆船、發動機船ニシテ登荷噸數二十噸以上又ハ積石數二百石以上ノ船舶ノ外繫留スルコトヲ得ス但シ境港務所長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 埠頭ニ於テ牛馬ヲ繫キ諸車物品ヲ放置シ又ハ作業ヲ爲シ若ハ其ノ他ノ妨害トナルヘキ

00116

行爲ヲ爲スヘカラス

第二十八條 船舶ヲ同時ニ岸壁ニ繫留セムトスルトキ又ハ岸壁ヨリ隔離セムトスルトキハ互譲スヘシ

第二十九條 岸壁ニ於テ積卸スヘキ貨物ハ迅速ニ之カ取扱ヲ爲シ濫ニ停留スヘカラス

第三十條 埠頭ニハ船客、荷主、送迎人、荷取扱人ノ外出入ヲ禁ス但シ境港務所長ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 境港務所長ニ於テ必要アリト認メタル場合ハ一時岸壁ニ船舶ノ繫留ヲ停止シ若ハ離隔セシムルコトアルヘシ

第四章 物揚場取締

第三十二條 物揚場ハ一般公共ノ用ニ供スルモノトス但シ知事ニ於テ必要ヲ認メタル場合ハ之ヲ專用シ又ハ第三者ニ專用ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十三條 火藥、石灰、肥料、危險物其ノ他不潔物ノ揚卸場ハ知事ノ指定スル區域トス但シ糞尿ニシテ午前八時迄ニ揚卸スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 物揚場ハ使用者互ニ便宜ヲ與ヘ他ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第三十五條 物揚場ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲スヘカラス

一、荷主ノ使用ニ屬スルモノノ外牛馬ヲ繫キ諸車物品ヲ放置シ又ハ作業ヲ爲スコト

二、汚物又ハ汚水ヲ撒布シ若ハ疊敷物類ノ塵芥ヲ掃フコト

三、其他使用者ノ妨害トナルヘキコト

第三十六條 物揚場ニ竹木、薪炭其ノ他ノ物件ヲ堆積スル者ハ顛倒セサル様堅牢ナル装置ヲナスヘ

00117

第三十七條 物揚場専用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ面積、期間及住所氏名ヲ記載シタル標柱ヲ見易

キ場所ニ建設スヘシ建造物使用ノ際ニ於テモ亦同シ

第三十八條 物揚場ヲ使用スル者ハ常ニ清潔ニ掃除ヲ爲シ炎天、風日ニハ時々淨水ヲ撒布スヘシ

第三十九條 物揚場ニ於テ物品ヲ運搬スル場合ハ墜落、漏出又ハ飛散セシメサル様適當ノ装置ヲ爲スヘシ

第四十條 警察官吏又ハ港灣管理吏員ニ於テ交通上若ハ保安上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ牛馬、諸車又ハ物件ノ撤去ヲ命スルコトアルヘシ

第五章 罰則

第四十一條 第三條第四條但書第五條後段第七條第十一條乃至第三十九條ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第六章 附則

本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

明治三十九年七月縣令第二十一號ハ之ヲ廢止ス

船名	船主	船舶ノ種類
船名	船主	船舶ノ種類
船舶	入港届	



06130

第四款	警察費	八、一五七
第一項	俸給及諸給	四、四五〇
第二項	廳費	一、二〇七
第三項	機密費	二、五〇〇
第九款	勸業費	二二三
第三項	農事試驗場費	二二三
第十四款	選舉費	四、八三七
第一項	衆議院議員選舉費	四、八三七
經常部計		一六、九八四
臨時部計		
第二十八款	雜出部	四、〇九六
第一項	過年度過納下戻金	四、〇九六
臨時部計		四、〇九六
歲出合計		二一、〇八〇

鳥取縣告示第三十八號

東伯郡小鹿村大字西尾一番屋敷

農津村 祐治

右ノ者ニ下付セル左記狩獵免狀ハ昭和七年一月二十三日遺失ノ旨届出ニ依リ無効トス  
明治三十四年七月十六日生

00121

昭和七年二月二日

鳥取縣知事 館 哲 二

鳥取縣告示第三十九號

阿片法第五條ニ依リ左記ノ者ヲ醫藥用阿片販賣人ニ指定ス

昭和七年二月二日

鳥取縣知事 館 哲 二

米子市紺屋町一番地 株式會社 稻田松太郎商店

鳥取縣告示第四十號

左記醫藥用阿片販賣人ハ昭和六年十二月十二日藥局廢止届出ニ依リ其ノ販賣人タルコトヲ取消ス

昭和七年二月二日

鳥取縣知事 館 哲 二

米子市紺屋町一番地 稻田松太郎

鳥取縣告示第四十一號

境港務所員服制別表ノ通定ス

昭和七年二月二日

鳥取縣知事 館 哲 二

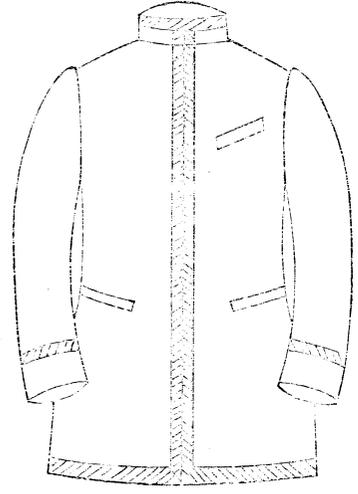
別表

上衣		袴		帽	
地質	製式	地質	製式	地質	製式
紺又ハ黒羅紗但シ夏ハ白地小倉	立襟控鉤ヲ以テ留メ幅六分ノ七子織黒毛線ヲ以テ縁ヲ取ル但シ夏服ニ於テハ縁ヲ白色線トス様式圖ノ如シ	紺又ハ黒羅紗	普通長袴	紺又ハ黒羅紗	圓形ニシテ黒色ノ前庇及幅四分ノ支革ヲ附シ支革ノ兩端ニ徑四分ノ金釦（圖柄別圖ノ如シ）一箇ヲ以テ留ム但シ夏ハ白布ヲ覆フ
所長 幅二分ノ蛇腹金線一條ヲ附ス	所員 幅六分ノ七子織黒毛線一條ヲ半面ニ纏フ但シ夏服ニ於テハ白色線トス	全徑一寸五分黒天鵝絨製ノ臺上ニ月桂冠釦及鳥羽ヲ配スル金モールトシ帽ノ周二幅一寸二分ノ七子織黒毛線ヲ纏フ			

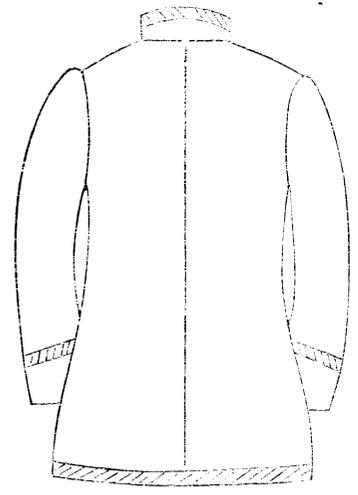
外套			
地質	製式	袖章	鈕釦
濃紺又ハ黒羅紗	折襟胸二重後ノ裾ヲ割キ後面腰部ニ帶緒ヲ附シ徑六分五厘金色鈕釦（圖柄別圖ノ如シ）八個ヲ附シ前左右ニ各一個ノ物入ヲ附ス様式圖ノ如シ	上衣ニ同シ	徑六分五厘金色金屬ニ鑄ニ鳥羽ヲ配シ彫刻ス
			濃紺又ハ黒羅紗 如圖

本服制ハ昭和七年二月一日ヨリ施行ス

上衣  
面 前

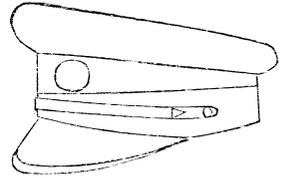


面 後



00124

帽



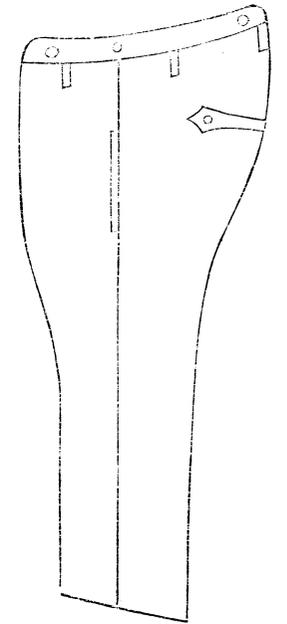
章 帽



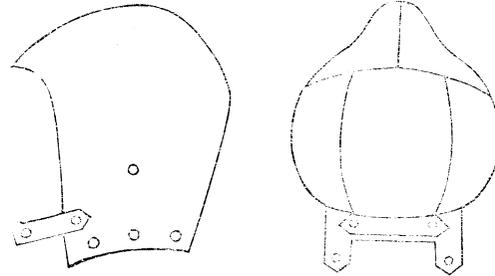
鈕



袴



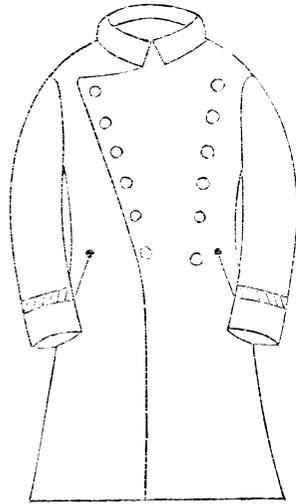
頭巾



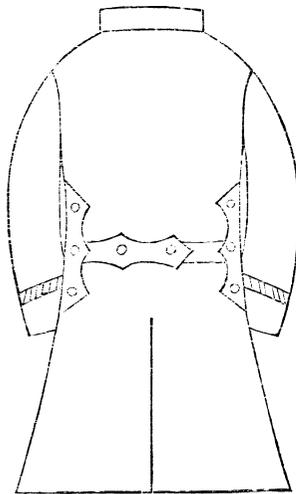
00125

外套

面 前



面 後



◆鳥取縣告示第四十二號

西伯郡弓濱南部耕地整理組合長同副長左記ノ通選任ノ件認可セリ

昭和七年二月二日

鳥取縣知事

館

哲

二

西伯郡彦名村

組合長

石谷

菊太郎

同郡同村

組合副長

松本

勝太郎

同郡同村

組合副長

畑中

清

00126

◆鳥取縣告示第四十三號

東伯郡下北條田井濱耕地整理組合長同副長左記ノ通選任ノ件認可セリ  
昭和七年二月二日

同 郡同 村	組合 副長	田 口 實 夫
東伯郡下北條村大字田井	鳥取縣知事 館	哲 二
組 合 長	松 本 源 藏	
同 郡同 村大字同	稻 本 英 治	
組 合 副長		

昭和七年二月二日 印刷

發行所 鳥取縣鳥取市東町  
鳥取縣高郡大正村大字古海  
印刷所 鳥取刑務支所